

第2四半期 決算説明会

2025年6月期

2025年2月28日
日本システムバンク株式会社



証券コード
5530

目次

- 01 - 会社紹介
- 02 - 2025年6月期 第2四半期決算報告
- 03 - 成長戦略
- 04 - 2025年6月期 業績予想
- 05 - トピックス

01

会社紹介

会社概要

会社名	日本システムバンク株式会社
設立	1996年7月10日
資本金	5億8,551万円（2024年12月末時点）
売上高	76億1,675万円（2024年6月期）
従業員数	232名（2024年6月末時点）
事業内容	コインパーキング事業 プロパティマネジメント事業
本社所在地	福井県福井市中央3-5-21 東京都渋谷区渋谷1-7-5
支店所在地	市川市、町田市、さいたま市、横浜市、長野市、富山市、 金沢市、福井市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、 広島市、福岡市
グループ会社	ノルテパーク株式会社(札幌市) システムパーク株式会社(仙台市) イーアド株式会社(福井市)

安全

First Choice

選ばれる駐車場

安心

快適

安全・安心・快適な駐車場づくりを推進し、
より多くのお客様にとっての
「First Choice」を目指す。

事業概要

コインパーキング(CP)事業とプロパティマネジメント(PM)事業の2セグメント体制。主力のCP事業では、自らCPを経営する「CP運営ビジネス」と、CPシステムの構築・保守を行う「CPシステム販売保守ビジネス」を展開

コインパーキング事業

CP運営ビジネス



- 土地を借り上げ、直営駐車場として運営

CPシステム販売保守ビジネス



- ニーズに応じた機器の選定・造成工事
- システム保守・コールセンターサービスの提供

プロパティマネジメント事業



- テナントビル賃貸ビジネス

連結売上高※ 構成

98.6%

1.4%

管理駐車場
構成

件数※

18.4%(1,284件)

81.6%(5,680件)

車室数※

14.8%(21,385車室)

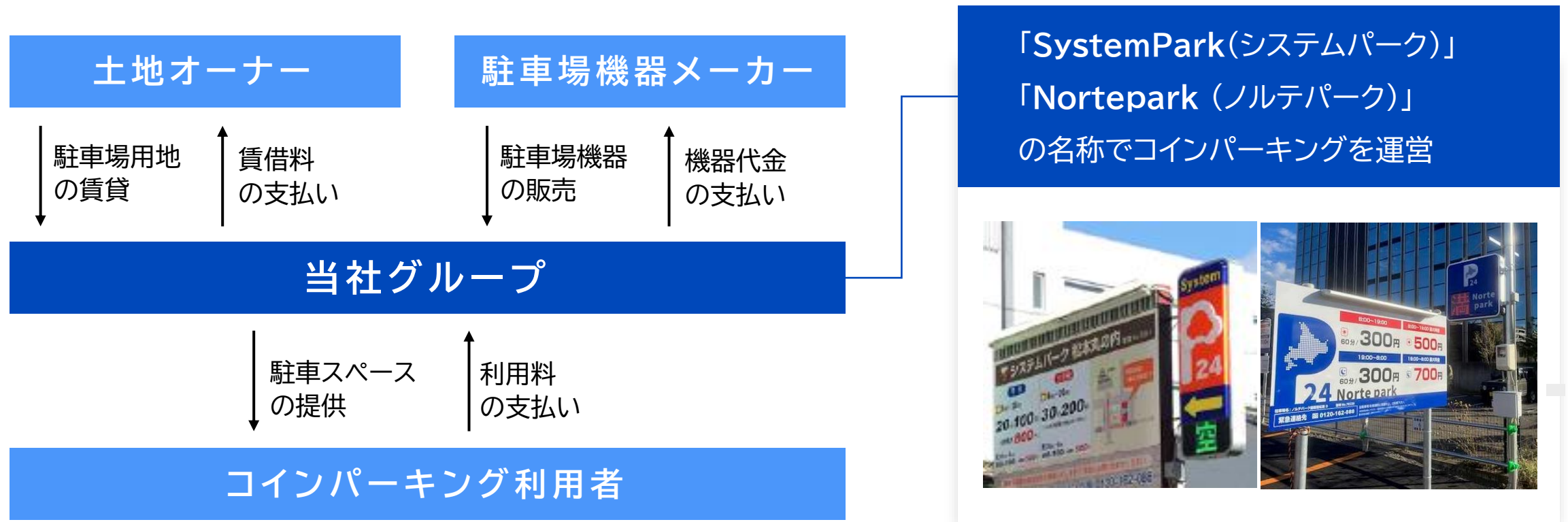
85.2%(122,861車室)

※ 2025年6月期 第2四半期末時点の実績。決算短信における報告セグメントに含まれてない事業を除く

事業概要 コインパーキング運営ビジネス

コインパーキング運営ビジネスは、土地オーナーから当社グループが土地を賃借(または購入)し、その土地に当社グループが駐車場システムを設置し、時間貸し(または月極)にて駐車場・駐輪場の運営を行うビジネス

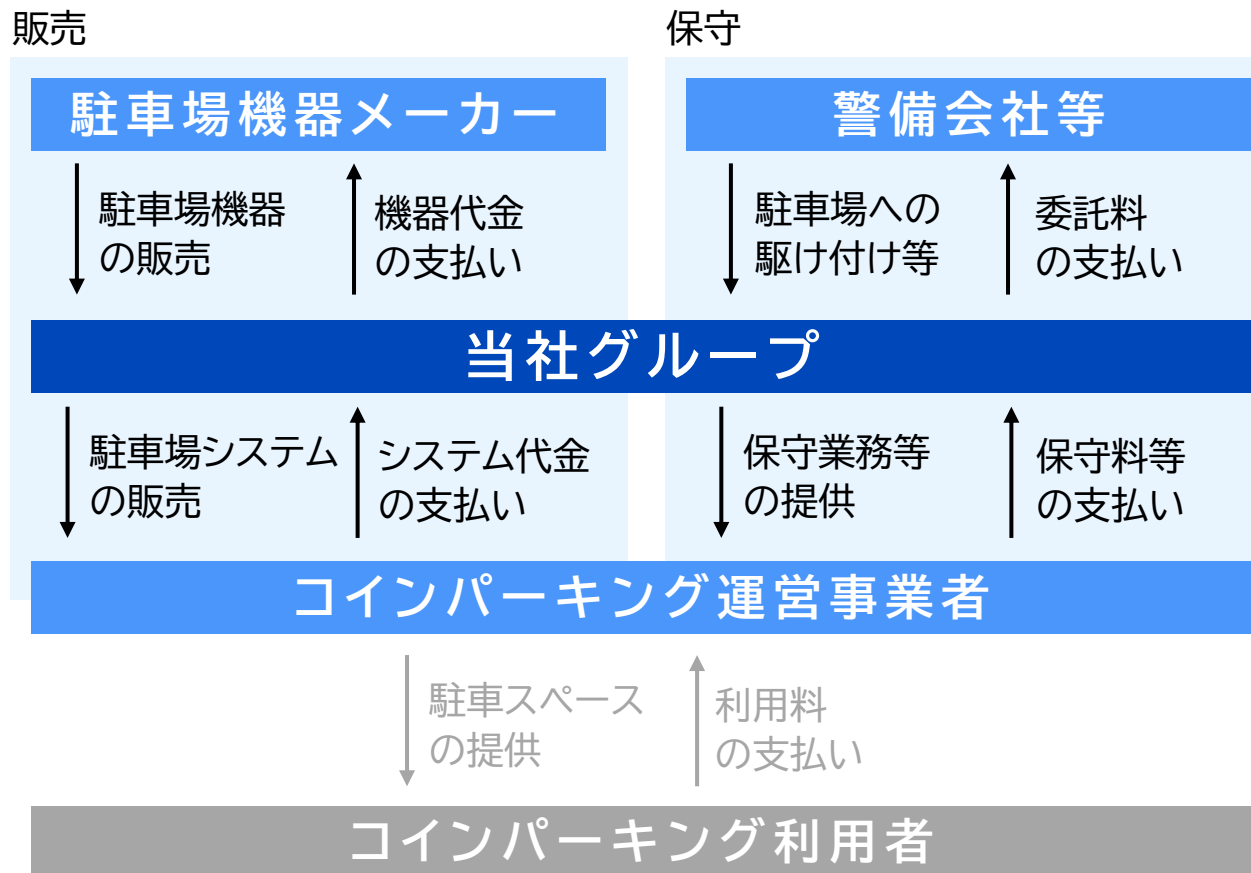
■ コインパーキング運営ビジネスのビジネスモデル



事業概要 コインパーキングシステム販売・保守ビジネス

コインパーキングシステム販売・保守ビジネスは、コインパーキング運営事業者に対し、当社グループが駐車場システムの販売及びトラブル発生時の対応や機器の点検等の保守業務を請け負うビジネス

■ コインパーキングシステム販売・保守ビジネスのビジネスモデル

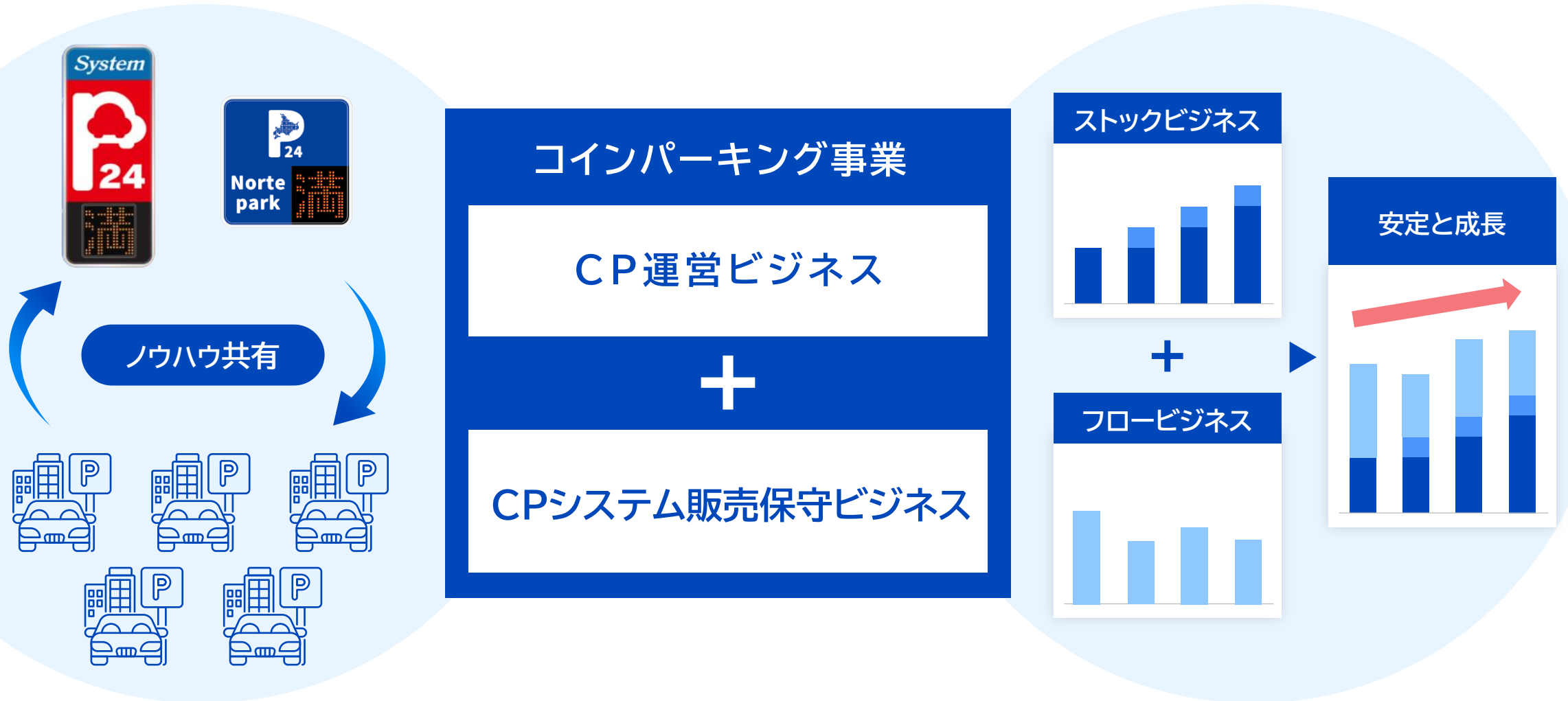


コインパーキングの開設から運営に必要なサービス等をワンストップで提供



事業概要 ビジネス間の関係

CP運営ビジネスとCPシステム販売保守ビジネス間でノウハウを共有することにより、シナジーを発揮。
ストックビジネス(運営・保守)とフロービジネス(販売)の組み合わせで、安定性と成長性を両立



02

2025年6月期 第2四半期決算報告

第2四半期決算ハイライト(連結)

売上高

39.0億円

前期比 +6.2%

営業利益

2.9億円

前期比 +0.8%

親会社株主に 帰属する 中間純利益

1.8億円

前期比 +2.0%

外部環境

- 個人消費が緩やかに持ち直し、インバウンド需要もコロナ禍前を凌ぐ水準まで増加したことで人流が増加
- 高水準の企業利益を支えに、能力増強投資や省力化投資を中心とした企業の設備投資が増加傾向

各事業への影響

CP運営

個人向けサービスの需要の高まりとともに、コインパーキングの稼働は堅調に推移

CPシステム 販売保守

コインパーキングの好調な稼働を背景に、駐車場運営事業者は新規開設に対する積極姿勢を維持。既存コインパーキングにおいても、新紙幣・新硬貨の対応に伴う設備の改修・入替需要が継続

PM

人流増加の影響により、全体的な入居率は安定

第2四半期の連結業績

コインパーキング事業が好調に推移し増収。人件費等の増加の影響もあり営業利益以下は前年同期と同等

(百万円)

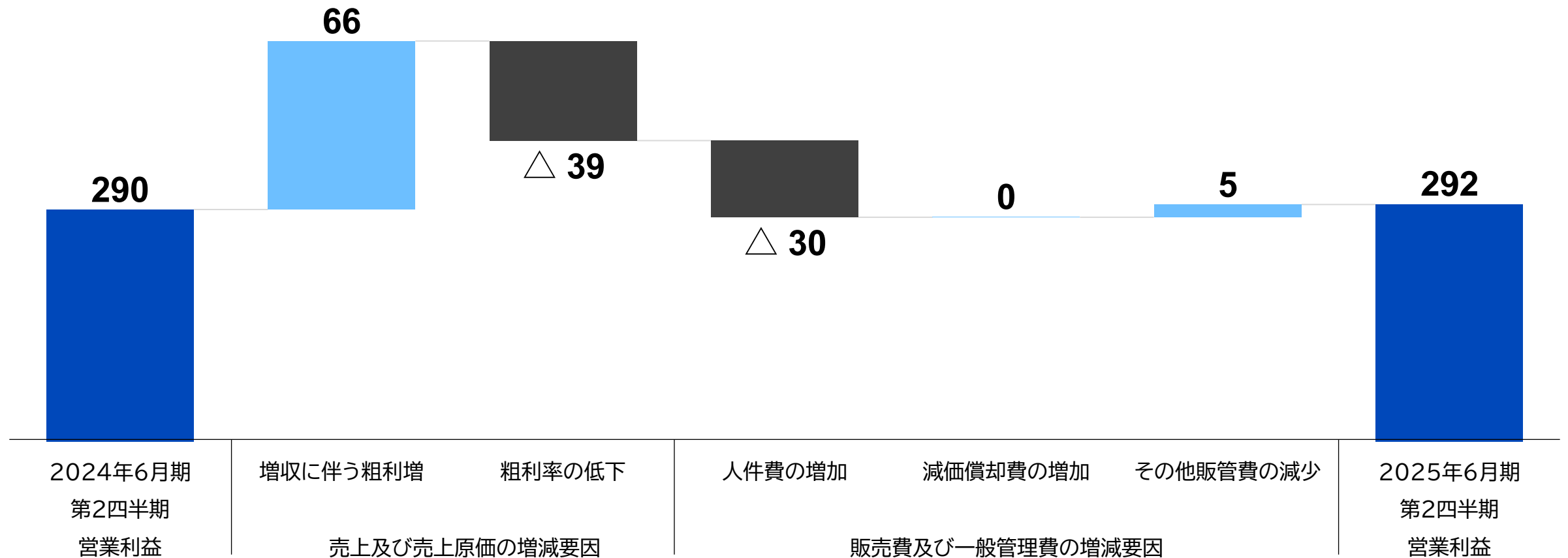
	2024年6月期	2025年6月期		前年同期比 (増減額)	2025年6月期 計画*	計画比
		実績	売上比			
売上高	3,674	3,902	—	+6.2% (+227)	3,789	+3.0%
営業利益	290	292	7.5%	+0.8% (+2)	247	+18.3%
経常利益	285	289	7.4%	+1.5% (+4)	241	+20.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	180	184	4.7%	+2.0% (+3)	157	+16.9%
1株当たり中間純利益	158.28円	161.36円	—	+3.08円	138.10円	+23.26円

※ 2024年8月9日公表値

連結営業利益 増減分析(第2四半期)

増収効果によって売上原価率の上昇および人件費の増加を概ね吸収

(百万円)



中間連結貸借対照表

中長期的な成長に向け、コインパーキング機器および事業用地の取得、コールセンターシステムの刷新等を行い固定資産が増加。自己資本比率とDEレシオの改善により、財務体質が健全化

(百万円)

	2024年 6月期末	2025年 6月期中間	増減額
流動資産	2,237	2,016	△221
現預金	1,395	1,199	△195
売掛金・ 前払費用	725	666	△58
棚卸資産	100	125	+25
固定資産	4,747	4,921	+174
有形固定資産	4,344	4,501	+157
無形固定資産	69	93	+23
投資その他の資産	333	326	△7
資産合計	6,984	6,937	△47

	2024年 6月期末	2025年 6月期中間	増減額
流動負債	1,959	1,807	△152
買掛金・未払費用	626	606	△20
長期借入金 (1年以内返済)	496	502	+5
賞与引当金	85	0	△85
固定負債	2,744	2,714	△30
長期借入金	2,096	2,055	△40
純資産	2,280	2,415	+135
利益剰余金	1,033	1,172	+138
負債・純資産合計	6,984	6,937	△47
自己資本比率	32.7%	34.8%	+2.2pt
有利子負債	2,622	2,573	△49
DEレシオ	1.15倍	1.07倍	△0.08倍

中間連結キャッシュ・フロー計算書

中長期的な事業成長に向け、営業活動によるキャッシュ・フローを上回る投資を実施

(百万円)

	2024年6月期	2025年6月期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	309	104.7%
税金等調整前中間純利益	284	284	100.2%
減価償却費	166	188	113.5%
売上債権の増減額(△は増加)	△30	58	-
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14	△25	177.7%
仕入債務の増減額(△は減少)	△26	△52	195.9%
未払消費税等の増減額(△は減少)	37	△29	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△408	198.1%
投資有価証券の売却による収入	25	6	25.2%
有形固定資産の取得による支出	△218	△365	167.0%
無形固定資産の取得による支出	△3	△37	1200.4%
フリー・キャッシュ・フロー	89	△99	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	△95	68.2%
長期借入れによる収入	300	300	100.0%
長期借入の返済による支出	△371	△335	90.3%
配当金の支払額	△44	△45	102.6%
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51	△195	379.8%
現金及び現金同等物の残高	1,376	1,199	87.1%

CP用地を取得
(土地の増加)

CP機器を取得
(機械装置の増加)

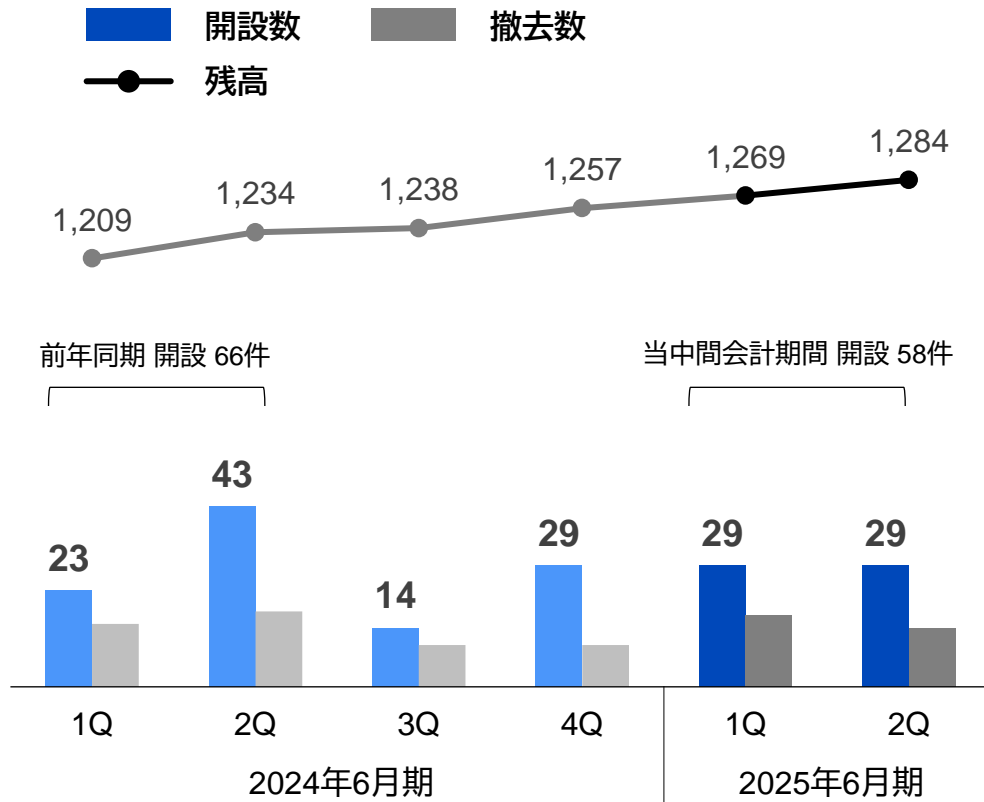
**コールセンターシステム
の刷新**
(ソフトウェアの増加)

駐車場・駐輪場の開設状況等

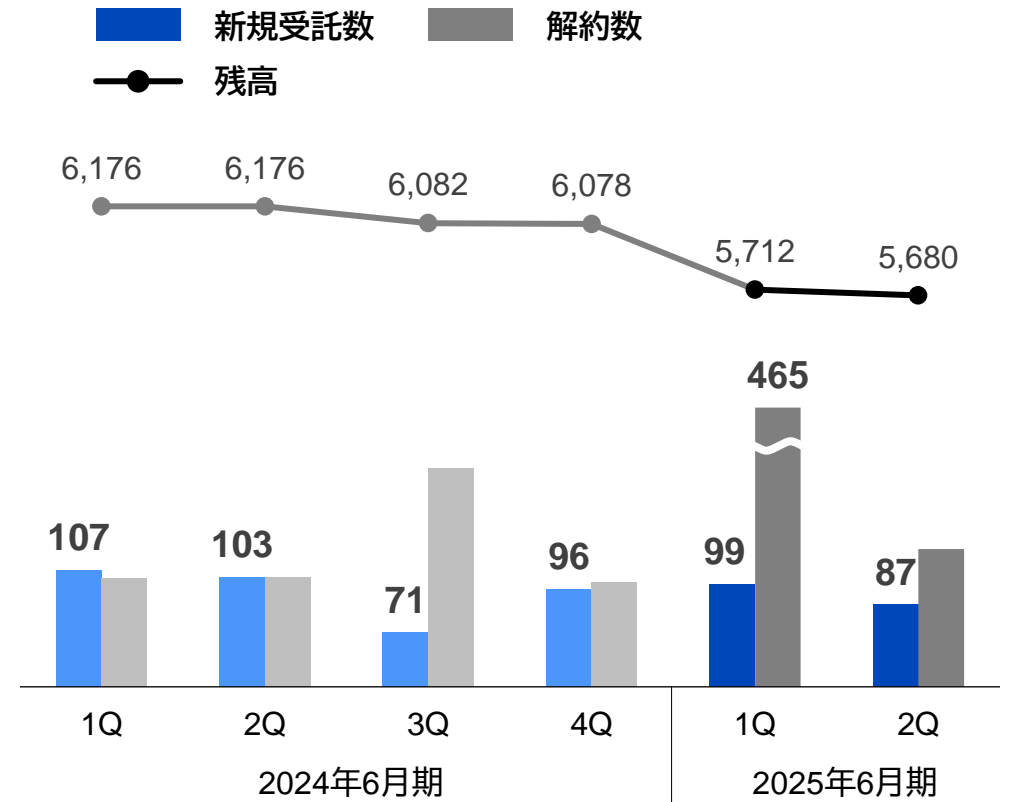
直営駐車場・駐輪場の残高は、北海道・東北を中心に開設が進んで増加。

管理受託駐車場・駐輪場の残高は、埼玉県や大阪府などで上積みされるも、大口顧客の解約の影響で全体としては減少

直営駐車場・駐輪場の開設数・撤去数および残高



管理受託駐車場・駐輪場の新規受託数・解約数および残高



03

成長戦略

基本方針

直営駐車場の安定化・駐車場運営事業者サポート強化・品質向上を柱に、CP事業の成長を追求。
加えて、持続可能な成長に資する、上場企業にふさわしい内部統制を実現

事業戦略

- 01 -

CP事業の拡大

- 機器・システム・料金の最適化や施設リフレッシュを通じた直営駐車場の盤石化
- 顧客ニーズを的確にとらえた新たなサービス・機器の開発
- 土地オーナー向け機器販売の強化

- 02 -

サービス品質の向上

- 自社運営コールセンターと全国保守ネットワークを活用した運営サポートの強化
- メンテナンススタッフの資格取得推進による保守点検作業の品質向上
- カメラを起点とした管理品質向上(防犯・故障発見等)

経営基盤強化

- 03 -

コーポレートガバナンス の強化

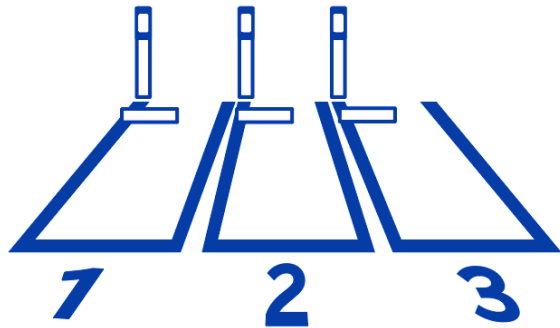
- 社外役員の多様性・専門性を活かした意思決定の高度化
- 顧客・案件情報管理のシステム化、DXを見据えたITによるリスクマネジメント

「3つの“LESS”」で選ばれる駐車場づくりを推進

事業戦略においては「3つの“LESS”」を推進。
お客様に選ばれる安全・安心・快適な駐車場づくりを目指す

FLAPLESS

フラップレス



駐車スペースが広くフラットで
駐車、乗降車のときに安全

CASHLESS

キャッシュレス



硬貨つまりなどが起こらず
利用者に安心感を提供

STRESSLESS

ストレスレス



高品質な保守と電話対応で
快適な利用をサポート

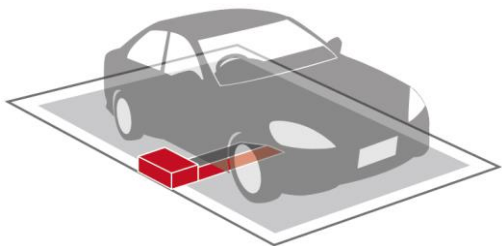
主力事業の拡大 – フラップレスの推進

自然災害に強く、幅広い利用者の安全性・安心感の向上に貢献するフラップレス式駐車場を推進。
直営駐車場への導入が順調に進み、当期末のフラップレス式駐車場の残高は直営駐車場全体の約4分の1となる見通し

FLAPLESS

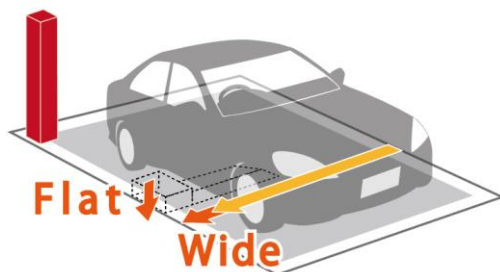
フラップレス

フラップ式駐車場
(普及率:高)



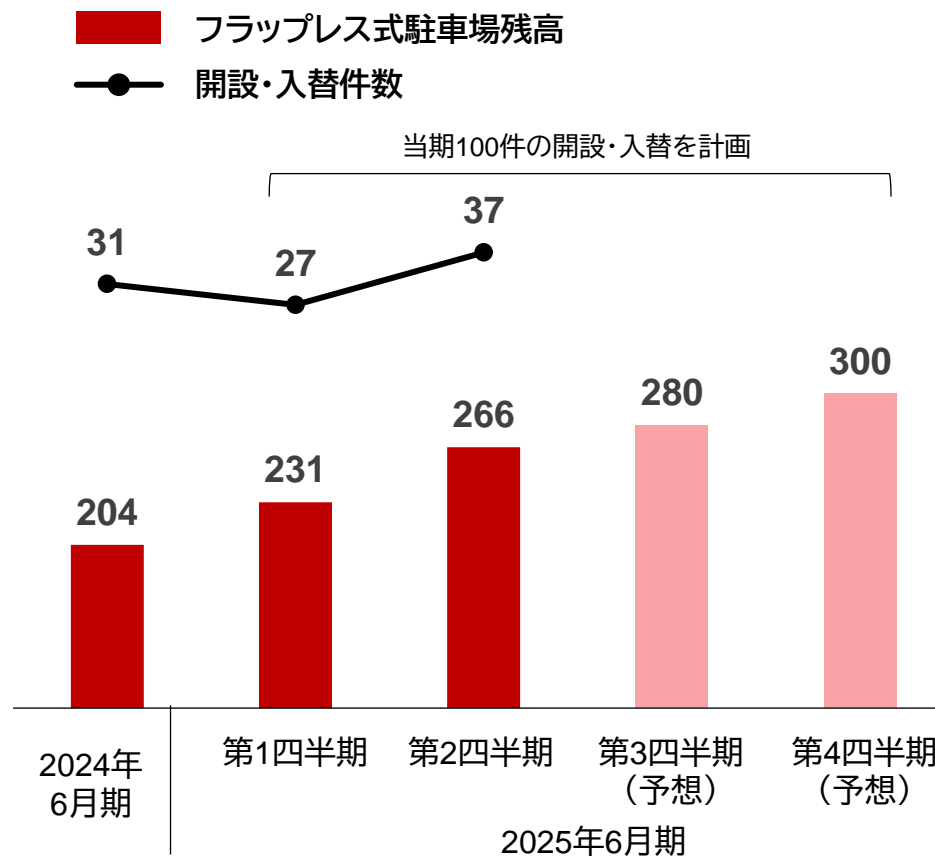
- フラップの幅分だけ駐車スペースが狭い
- 機器故障時は出庫できないケースがあるためクレーム化しやすい

フラップレス式駐車場
(普及率:低)



- 駐車スペースを広く確保できる
- 乗降車がスムーズで利用者の転倒リスクも少ない
- 降雪や冠水等の自然災害に強い

直営駐車場におけるフラップレス式駐車場の推移



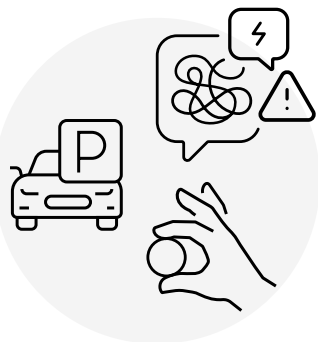
主力事業の拡大 - キャッシュレスの推進①

利便性を高める機器・サービスの強化を図る上で、当期も駐車料金のキャッシュレス決済システムの導入を継続。直営駐車場・駐輪場におけるキャッシュレス決済率は、地方で伸び悩むも全体は底上げされており、当期20%での着地を見込む

CASHLESS

キャッシュレス

現金精算の場合



- 硬貨つまり、識別不良などが起きやすくクレーム化しやすい

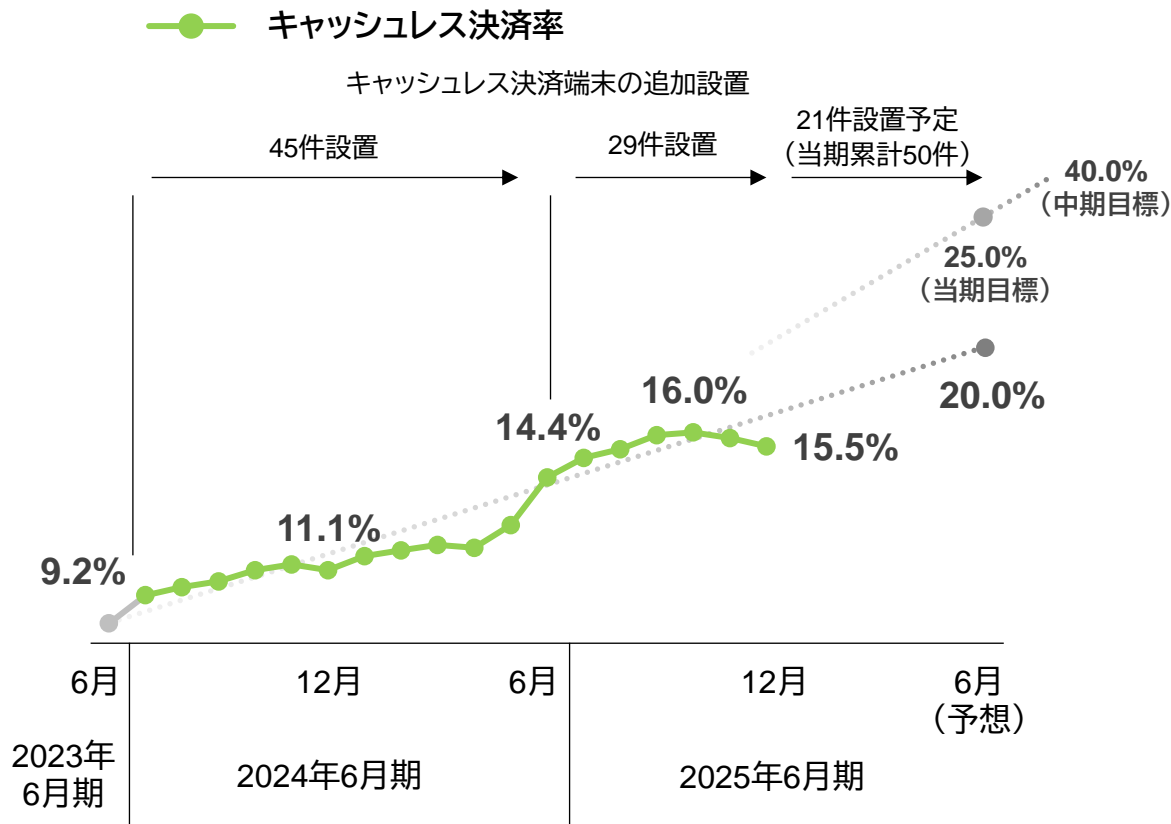
キャッシュレス決済の場合



- キャッシュレス化によってトラブルの発生を削減

■ キャッシュレス決済率の推移*

※ 直営駐車場・駐輪場の売上に占めるキャッシュレス決済の割合

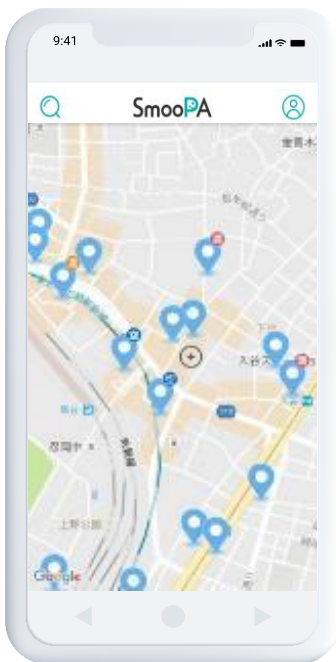


主力事業の拡大 – キャッシュレスの推進②

駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」は決済件数が順調に増加する一方、アクティブユーザー数の伸びは予測を下回った。当期末には、月間の決済件数13万件、アクティブユーザー数10万人を見込む

CASHLESS

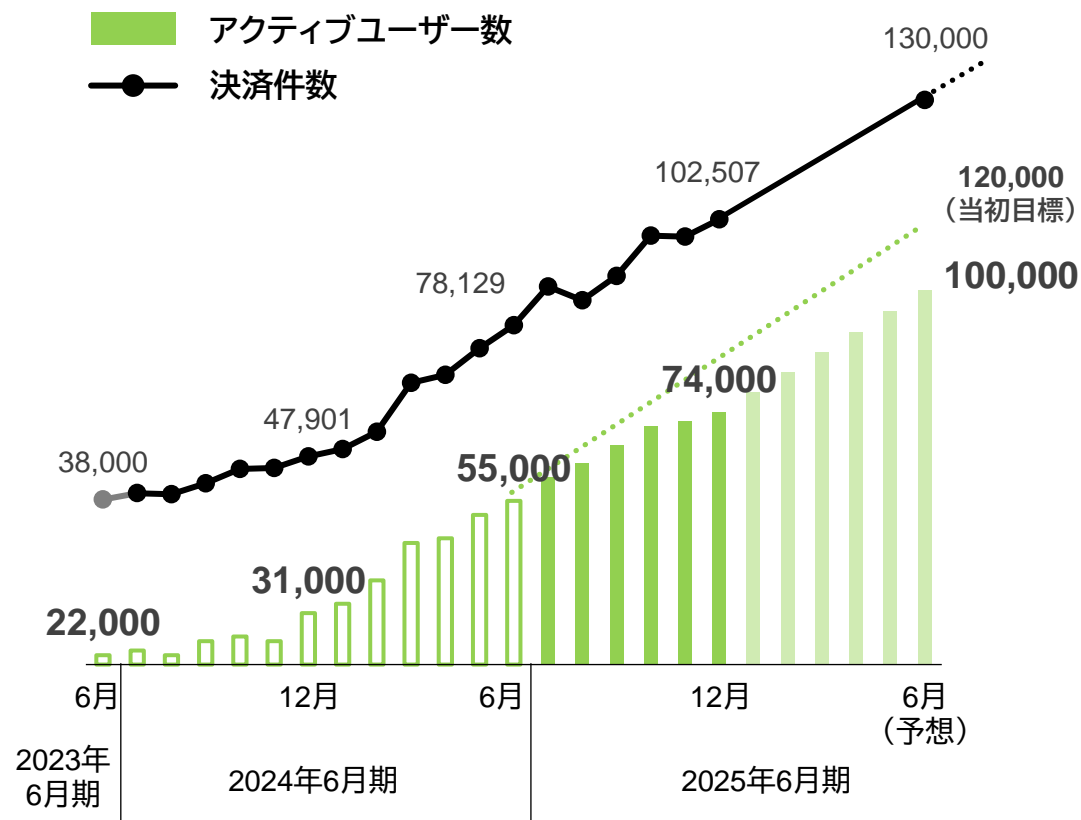
キャッシュレス



駐車場検索&決済アプリ SmooPA(スムーパ)

- 空いている駐車場を一発検索
- アプリ上でキャッシュレス決済
- 法人一括請求サービスを利用すれば経費精算の手間も削減

SmooPAのアクティブユーザー数および決済件数



サービス品質の向上 – ストレスレス駐車場の実現

利用者・オーナーの双方にとってストレスのない安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、社員教育を強化。日常の保守点検を担うメンテナンススタッフにおいて、新たに3名が第二種電気工事士資格を取得

STRESSLESS ストレスレス

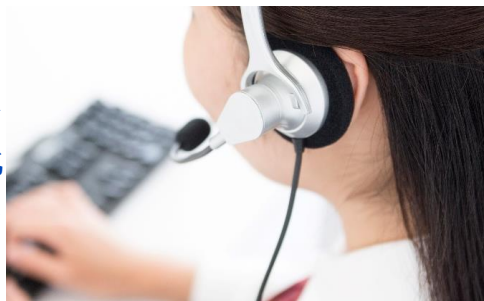
有資格者による
定期点検・早期復旧



- メンテナンススタッフの資格取得を推進し、保守点検作業の品質を高め故障を未然に防止

連携強化

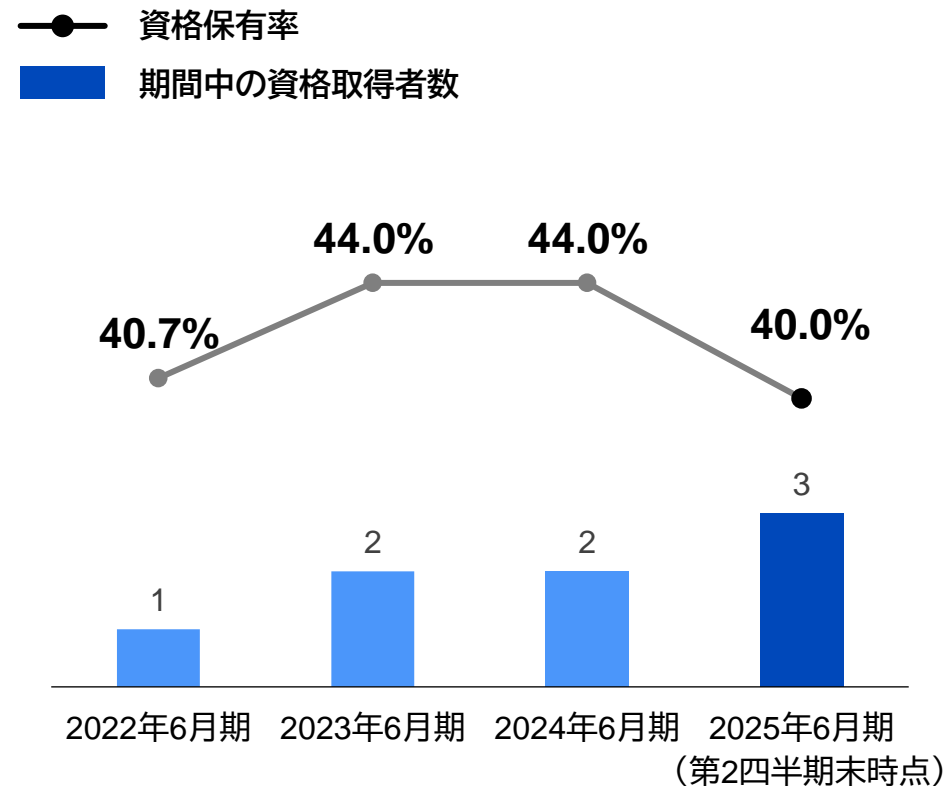
もしもの時もつながりやすい
コールセンター



- 一次窓口となるコールセンターの品質維持
- トラブル未然防止による入電数減

第二種電気工事士の資格保有率の推移※

※ メンテナンススタッフに占める有資格者の割合



04

2025年6月期 業績予想

連結業績予想

(百万円)

	2024年6月期 実績	2025年6月期 予想	増減率(増減額)
	通期	通期	前期比
売上高	7,616	7,587	△0.4% (△28)
営業利益	549	386	△29.6% (△162)
経常利益	538	373	△30.7% (△165)
親会社株主に帰属 する当期純利益	292	222	△23.9% (△70)
1株あたり 当期純利益	256.12円	194.66円	△24.0% (△61.46円)

— 配当予想

	2024年6月期	2025年6月期 予想
1株当たり配当金(円)	64.0	64.0
中間配当金	24.0	24.0※
期末配当金	40.0	40.0
配当金総額(百万円)	73	73
配当性向	25.0%	32.9%

※ 2025年6月期の中間配当金に関しては、2025年2月14日開催の取締役会において決議済み

05

トピックス

トピックス①

札幌市に本店を置き道内全域をカバーする子会社のノルテパークが、北海道銀行の店舗駐車場でコインパーキングを3件開設。累計16店舗(19件)でコインパーキングを開設しており、今後も増加を見込む

■ 北海道銀行 店舗駐車場

- ・店舗駐車場を有料化することで、長期駐車や不正駐車を防止。来店者には無料時間を付与
- ・システムには主にフラップレス式を採用。除雪対応をはじめ、来店者に配慮したきめ細かい対応が好評

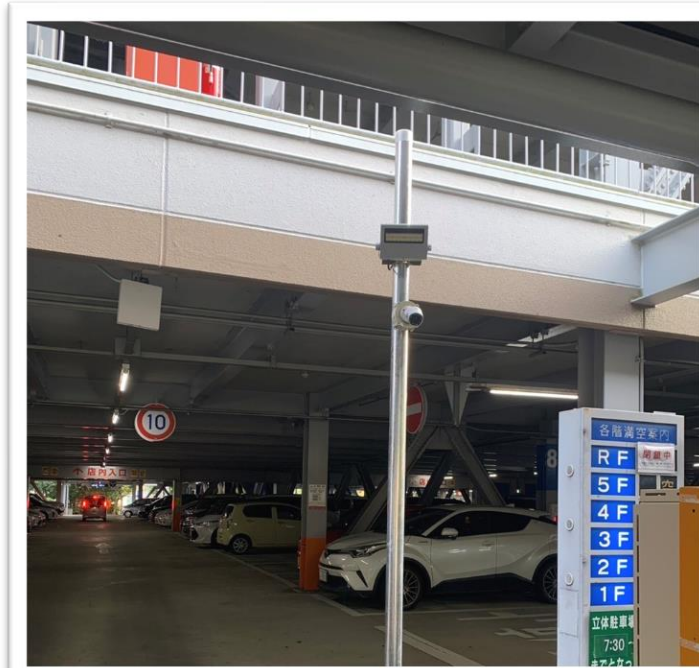


トピックス②

イオン高槻店(大阪府高槻市)において、当社グループとしては初めてとなるイオン店舗の駐車場管理を受託。
従来のゲート式駐車場設備から、カメラで車両番号を認識し駐車券・ゲートを用いない利便性の高いシステムに刷新

■ イオン高槻店 店舗駐車場

- ・2025年2月より管理受託開始。収容台数1,780台
- ・料金精算は場内の精算機または専用のウェブサイトで車両番号を指定し全て事前に行うため、出口の混雑が解消



參考資料

■ 株価チャート(週足)



■ PER - 株価収益率 -

7.07 倍

EPS - 1株当たり当期純利益 -

256.12円

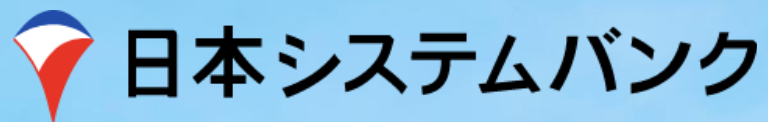
■ PBR - 株価純資産倍率 -

0.91 倍

BPS - 1株当たり純資産 -

1,994.70円

(各指標は2024年6月期末時点のもの)



免責事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しています。なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。